



横手I.C.



湯沢I.C.

未来へつながる快適な道



雄勝こまちI.C.



一般国道13号

# 湯沢横手道路



国土交通省東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所



## 事業の概要

一般国道13号は、福島市を起点として山形市、新庄市、湯沢市、横手市等の主要都市を経て秋田市に至る、延長約300kmの主要幹線道路として重要な役割を果たしています。

しかし、近年の交通量の増加と車輛の大型化等による交通混雑、特に冬期間の交通渋滞が著しくなっており、沿道の生活環境の悪化等も問題となっています。

これらを解消するため、昭和59年度に横手南バイパス(L=8.6km)、昭和60年度に湯沢バイパス(L=9.0km)の建設事業に着手し、昭和62年度に東北中央自動車道が国土開発幹線自動車道の予定路線に編入されたことにより、両バイパスを「湯沢横手道路」として事業を変更し整備を進めてきました。

総延長29.0kmのうち横手市安田(婦気交差点)から須川I.C.間を平成18年8月までに供用しており、今回雄勝こまちI.C.から須川I.C.までの3.6kmを供用することにより湯沢横手道路の全線暫定2車線(一部4車線)での整備が完了します。

また、湯沢I.C.から横手I.C.間L=13.5kmについては一般有料道路として東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)が管理しています。

### 湯沢横手道路

事業着手	昭和59年度
用地着手	昭和61年度
工事着手	昭和62年度

## 湯沢横手道路の完成により期待される効果

### 期待される効果 1

#### 交通環境の向上と移動時間の短縮

民家が建ち並び、冬期には道路の幅員狭小による走行速度の低下を起こす現国道13号を回避することができるとともに湯沢横手道路を全線利用した場合、現国道13号利用と比べ横手市まで約23分の時間短縮となります。



### 期待される効果 2

#### 地域間交流や観光産業への支援

湯沢市、横手市周辺地域間の交流を促すと共に、西栗駒に広がる多くの観光資源へのアクセス性を向上させ、観光産業の活性化に大きく寄与します。



## 現場からの声

### 期待される効果 3

#### 救急医療面への支援

湯沢横手道路に設置した県内初の救急車退出路により雄勝中央病院(※二次救急医療機関)への患者搬送時間が短縮され、一分一秒を争う救急医療に大きく貢献しています。

※入院治療を必要とする重症患者を担当する医療機関



### 救急車退出路は心強い味方



湯沢雄勝広域市町村圏組合 消防本部 消防司令長 近藤 久さん

私たちの消防本部は、湯沢市・羽後町・東成瀬村の地域をカバーしています。

平成17年度に湯沢横手道路に整備された救急車退出路の利用はH18年度の須川I.C.の供用に伴い増加傾向にあります。これは、供用に伴い利用対象予想区域が増加したことにもよりますが、信号機が無くブレーキ操作を押さえたスムーズな走行ができる湯沢横手道路の利便性が救急隊員にも浸透してきたことと、救急患者への搬送中の負担が現道利用に比べ軽減出来ることからです。

湯沢横手道路が雄勝こまちI.C.まで開通すると利用頻度は今以上に上がると予想しています。今や救急車退出路は、救急患者・救急隊員どちらにとっても心強い味方となっています。



## 湯沢横手道路での取組み

### 取組み 1

#### 湯沢横手道路の環境への配慮やコスト削減など

土量： 約155万m<sup>3</sup>の有効利用  
金額： 地域全体で約49億円の縮減効果

湯沢横手道路の整備にあたっては、関係機関との調整を図り「雄湯郷ランド整備事業」の造成により発生した残土を盛土材として活用することで、効率的な道路整備を進めてきました。また間伐材、再生砕石、再生アスファルトなどを使用することにより、湯沢雄勝地域全体において環境への配慮を行うと共に、大幅なコスト削減がなされました。

### 取組み 2

#### 道路空間を利用した地域住民参加フィールドを提供

「湯沢横手道路を見たい、知りたい、体感したい」をテーマに、完成後一般歩行者等の立ち入りが出来なくなる「湯沢横手道路」において地域の方々が工事の様子を見学したり、各種イベント等を気軽に実施できるフィールドを提供しました。この取り組みは新聞報道され、参加された方以外にも広く湯沢横手道路事業への理解を深めていただききっかけとなりました。



### 取組み 3

#### 夜間見やすい標識

(広角プリズム型反射式案内標識 従来より6倍の反射)

近年、高齢者が運転する機会が多くなり、道路標識の見やすさ向上が求められています。特に夜間の道路標識の視認性向上と判読性の改善を図るため、従来の標識に比べ6倍の反射性能を持つ広角プリズム型反射式案内標識を採用し、標識の見やすさ向上を図りました。





# 躍動! 秋田県南地域に活力を生む湯沢横手道路

【この地図は、国土院の承認を得て、図説発行の1:50,000地形図を複製したものです。(巻頭番号 平19登陸第97号)】

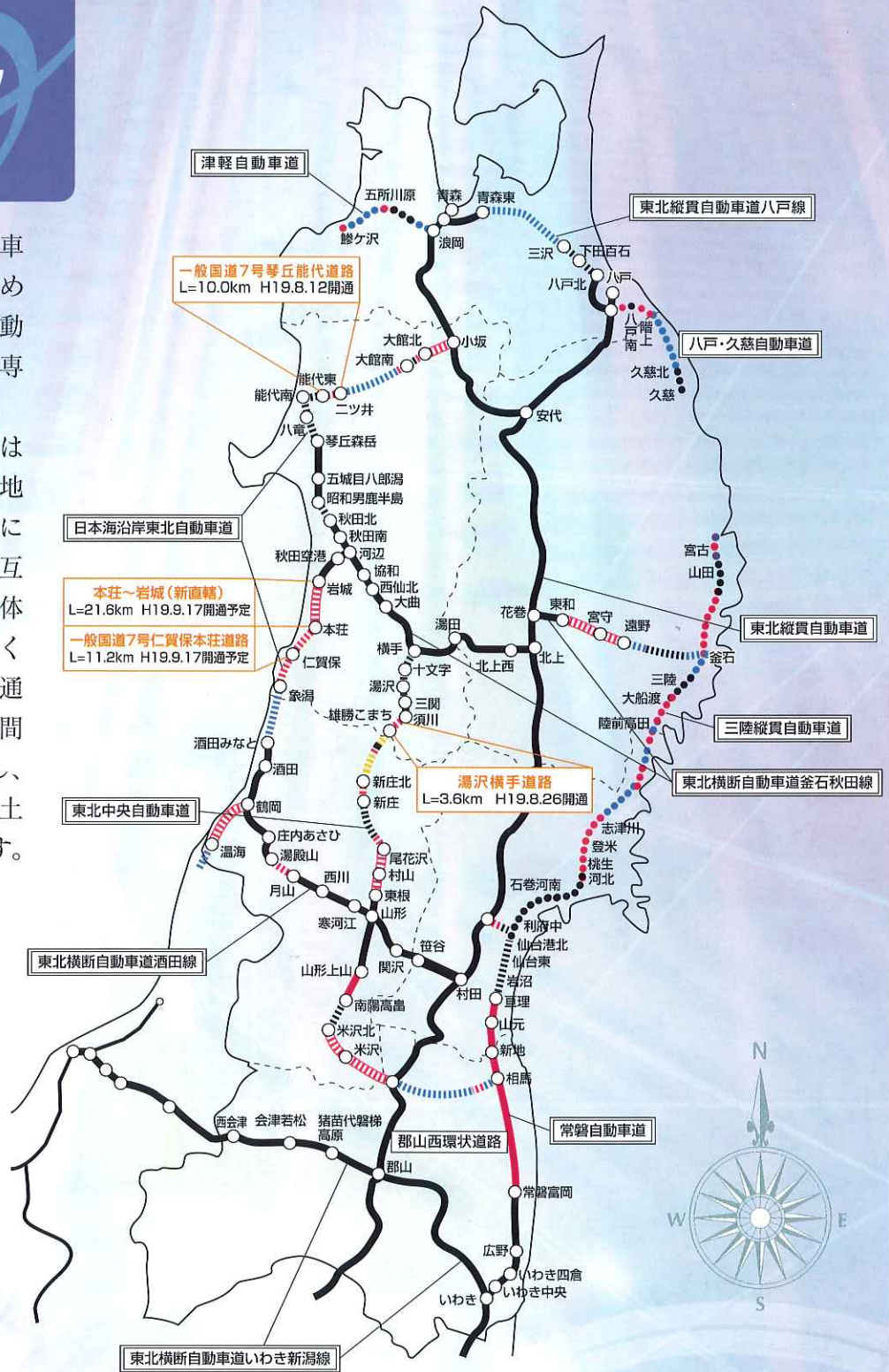
# 交流 ネットワーク 構想

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路のことをいいます。

今後、地方生活圏においては定住人口の減少が予想され、地域間相互でそれぞれの特性に応じた適切な役割を担い、相互に補完連携しあいながら全体として地域発展を図っていく必要があります。広域的な交通ネットワークの整備が地域間の交流連携の拡大を可能にし、一体感のある国土づくり、県土づくり、地域づくりを実現します。

国土開発幹線自動車道(A)	
	供用区間
	整備計画区間
	うち直轄区間
	基本計画区間
	計画中路線
国幹道に並行する自専道(A')	
	供用区間
	事業中区間
一般国道自動車専用道路(B)	
	供用区間
	事業中区間
	基本計画区間

平成19年4月現在



国土交通省東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所

〒012-0862 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2  
TEL0183-73-3174 FAX0183-73-3179  
URL <http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>  
E-mail [yuzawa@thr.mlit.go.jp](mailto:yuzawa@thr.mlit.go.jp)